

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-1	中原区協働推進事業一般経費	継続	H14年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	-	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業		
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容				
目的及び内容	協働推進事業を実施するために、必要な事務用品等の購入、複写品費、区の花シンボルマーク入り封筒の製作、郵送料などに経費の支出を行なう。 また、中原区ガイドマップの増刷し、区内に不慣れな転入者などに配布する。					
予算額	3,510,000(円)	決算額	3,397,210(円)	不用額※	112,790(円)	
※不用の理由						
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (区の花パンジーマーク入り封筒)	① プリンタ用インクジェットカートリッジやラベル用紙等の事務用品を購入。 ② 資料送付等に使用する区の花マーク及び区のロゴ入りの封筒を10,000枚作成。 ③ 区ガイドマップを20,000部(冊子版)、1,000部(大判)作成。 協働推進事業執行に必要なOA機器(パソコン)を購入。	実施時期(開催日/回数等)	-	参加人数等	-

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) インクカートリッジやソフトスクリーン、ホワイトボードなど、各事業に使用する事務用品を購入することで、円滑な事業執行に寄与した。 マーク入り封筒は、各課で使用され、区のシンボルマークPRに役立った。 また区のガイドマップ作成にあたっては、生活ガイドマップ・安心ガイドマップという区民ニーズを反映させている。この結果、前回作成した冊子版ガイドマップがほぼ配布完了という状況であり評価できる。 OA機器として購入したパソコンは、イラストや写真を多用した広報ポスター作成に役立っている。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	協働事業の執行に必要な消耗品を引き続き調達する必要があるため、次年度以降も現状どおり事業を実行する。 区民ニーズが高いガイドマップ増刷については、平成20年度からひとつの事業化した。

※ 区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-1	小杉駅前総合案内盤地図情報等更新事業	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	小杉駅利用者	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>現在、小杉駅周辺では再開発により、工場跡地への超高層マンションの建設及び市主要公共施設の移設・廃止が進んでおり、これに伴う地図情報の更新が求められていた。また小杉駅周辺再開発に伴うサイン計画では、同案内盤の撤去（平成21年度予定）が予定されている。</p> <p>以上の状況から、現在までの再開発状況を踏まえた地図情報の更新と、同じく古い情報が多数含まれた地図情報と連動した操作パネルのボタン部分の撤去工事を実施し、的確な地図情報の提供を行う。</p>					
予算額	224,000(円)	決算額	223,440(円)	不用額※ 560(円)		
※不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(総合案内盤 工事の様子)</p>	案内盤手元にある操作ボタンの撤去、地図パネルの脱着工事を施工した。 地図部分の名称補修等は区役所職員がシールの貼り付け作業を実施した。	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加人数等	—

2 事業評価

<p>評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）</p> <p>小杉駅前総合案内盤は、設置から15年以上が経過し、地図情報が古く、構造上簡単に補修作業ができなくなり、古い情報が多数含まれた地図情報と連動した操作パネルのボタン部分の撤去工事、地図情報の補修を実施し、的確な情報の提供を求められていた。以上のことから区として適正な情報を掲出するために必要な事業であったといえる。</p>
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	<p>当該案内盤は、小杉駅周辺再開発のサイン整備に伴い、平成21年度に現案内盤の撤去・新サインを設置する予定となった。小杉駅周辺再開発のサイン整備はまちづくり局所管事業。</p>

※ 区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-2	武蔵小杉駅周辺再開発事業等の転入者に対する地域福祉実践に係る調査事業	新規	平成19年度	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域保健福祉課	対象者	大規模再開発地域	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容	なし	
目的及び内容	大規模マンションの転入者が地域とのつながりを持ち、支え合える地域づくりを形成するために必要な課題やその課題解決に向けた地域住民や行政による対応について、近隣都市等における類似の実情並びに先進事例を事前に研究・把握することで、来年度からの「橋わたしによる地域福祉の活性化事業」を的確かつ効果的に実施するための手法の研究材料及び広報内容の参考資料とすることを目的とする。東京都及び神奈川県内の大規模マンションを対象として、地域とのつながりに関する手法、課題や問題点を調査し報告書をまとめる。			
予算額	987,000 (円)	決算額	987,000 (円)	不用額※ 0 (円)
※不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  別途報告書添付  (写真などのキャプション)	居住者の入居間もない大規模マンションにおいては、管理組合や自治会を軌道に乗せるので精一杯であり福祉活動に至るにはかなりの時間を要すること。コミュニティ形成に向けては近隣地域を巻き込んだイベントや住民間での情報の共有に尽力していること。バリアフリーや防犯対策などのきっかけや住民間での働きかけが自治活動の原動力になっていることなど、参考となる調査結果を得ることができた。	実施時期 (開催日/回数等)	12月から3月  参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
大規模マンションの転入者が地域とのつながりを持ち、支え合える地域づくりを形成するためには、行政として、どのような取組を進めるべきか、事業実施に向けたキーワードをいくつか確認することができた。この成果を「橋わたしによる地域福祉の活性化事業」に生かしていく。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	

※ 区民会議からの主な意見


・調査だけの費用としては高いと思う。調査結果を活かして事業展開して欲しい。
---------------------------------------

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-3	中原区役所壁面緑化事業	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	—			<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容				
目的及び内容	区役所の環境への取り組みを進めるため、区役所ロビー南面と西面のガラス面の一部をツル状の植物を育成して日除けを作り、夏季における室温上昇を抑える取り組み。 壁面にツルを絡ませるためのネットを施行し、葉が大きく管理も比較的簡単なゴーヤー、きゅうり、アサガオを育て、緑のカーテンを作った。					
予算額	363,000(円)	決算額	361,809(円)	不用額※	1,191(円)	
※不用の理由						
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		壁面にアンカーを打ち込み、ワイヤーロープを張り、ツル状の植物を巻きつけるためのネットを設置し、写真のとおり緑のカーテンを栽培した。 まきどきには少し遅い7月から、栽培を始めたが、順調に成長し8月には緑のカーテンになり、1階ロビーの日除けができただけでなく、実を楽しむこともできた。			
	緑のカーテン 8月の様子		実施時期 (開催日/回数等)	7月～10月	参加人数等	区役所来庁者

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) ガラス面に囲まれた1階ロビーは、夏季は暑いとの声が市民から寄せられていたことと、区での環境への取り組みをさらに進める必要があるとの判断から事業化した。 当該事業は1階ロビーの日除けをすることができただけでなく、来庁者の関心も強く、職員の水やり時などに交流する機会も生まれた。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	平成20年度は緑のカーテンを区内に広めるため、区内保育園、幼稚園、こども文化センター、に協力を募り、公募の区内市民活動団体30団体と共に、ゴーヤーの緑のカーテンを広めていく。

※ 区民会議からの主な意見


・環境への取り組みは良いことなので、継続して広めて行って欲しい。
----------------------------------

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-4	緑のカーテンリーフレット作成事業	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	中原区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区民への緑のカーテンの普及と、環境に対する取り組みの啓発を目的に、誰でも簡単に始めることができるようゴーヤーの育て方絵本「ロジーちゃんと緑のカーテン」を作成する。 内容：ゴーヤーによる緑のカーテンの作り方やポイント、それによって得られる効果をイラストや写真を使って子ども向けの絵本形式で作成。また、保護者や学校の先生向けの詳しい作り方やコツも文章や写真で紹介する。 併せて「中原区区民会議地球にいいことプロジェクト」推進マークの商標登録調査と、推進マーク使用の確定日付を取得する。				
予算額	411,000(円)	決算額	326,200(円)	不用額※	84,800(円)
※不用の理由	契約差金				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		「中原区地球にいいことプロジェクト」推進マークの商標登録調査を行い、確定日付を取得した。 リフレットは10,000部作成、平成20年度の緑のカーテン普及事業に合わせて、主に次の団体に配布した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテン栽培協力団体 市民活動団体、保育園等(53団体)</li> <li>・区内市立全小学校(環境学習等の参考資料として)</li> </ul> また、区役所2階企画課窓口にて希望する区民に配布した。 ※先行して「第1期中原区区民会議市民報告会」にて配布		
	緑のカーテンリーフレット		実施時期 (開催日/回数等)	配布開始 平成20年5月	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 平成20年度は市をあげてゴーヤーの緑のカーテンの普及を行っているため、区民の関心も強く、区内への緑のカーテン普及に役立った。また、町内会の自主的な環境活動で配布されるなど、環境への取り組みの啓発にも利用され、当初の事業目的を達成したといえる。 ゴーヤーの育て方を説明するリーフレットは、緑のカーテンを広めるにあたって欠かせないものあり、ゴーヤーの発芽時期に合わせて作成する必要があったため緊急性があった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

※ 区民会議からの主な意見


—————
-------

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-5	中原区市民提案型事業	新規	平成19年	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	中原区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	市民・こども局		
目的及び内容	地域課題を区民自ら発見し解決し、市民活動拠点としての区役所機能の強化を図るため、協働のルールに基づいた協働型事業として実施する。平成19年度は試行として、2事業(テーマ)を募集し市民活動団体への委託事業として事業を行う。				
予算額	1,370,000(円)	決算額	1,111,765(円)	不用額※	258,235(円)
※不用の理由	審査委員会開催経費などについて4回を計上していたが2回の開催で済んだため。				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		市民から広く公募し、市民委員・行政委員により構成される審査委員会にて選定された、「多摩川シンポジウム」「うたの交流広場・歌声喫茶」事業を実施し参加者からは好評を得ることができた。また、行政と市民活動団体との協働にて事業を進めることができた。		
	(うたの交流広場・歌声喫茶の様子)		実施時期(開催日/回数等)	3月9日(多摩川) 3月23日(歌声)	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 市民から広く、地域の課題をテーマとして募集し、解決手法の提案を受け事業を実施することは、協働の推進の観点からも意義がある。また、協働推進事業として、市民発意により、市民と協働で事業を行うことにより、行政だけでは実施できない事業を市民活動団体が課題解決の担い手として実施することができた。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	市民提案型事業の試行ということもあり、制度や事業実施にあたり検討、見直しを行う事項が確認できた。より良い事業となるよう、見直しの上継続していく。

※ 区民会議からの主な意見

・全市的な取り組みと連携し、実施方法など検討して欲しい。
------------------------------




平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-6	市民活動等プレゼンテーション用スクリーン購入	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区役所会議室等利用者	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	区民の委員会活動やまちづくりの会、講座や教室、区民会議等の開催に際し、より利便性を高めるため、大型の移動式スクリーンを購入する。			
予算額	77,000 (円)	決算額	76,545 (円)	不用額※ 455 (円)
※不用の理由				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (スクリーンを使ったプレゼン)	移動式の画面サイズ100型 (1,987mm×1,490mm) のスクリーンを1基購入。		
		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年2月	参加人数等 —

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 中原区役所会議室ではスクリーンを使用する際には、503会議室の天井吊り下げ式のものを使うか、1つあるホワイトボード付属のスクリーンを用いて対応していた。しかしながら、501や502会議室でスクリーンが必要な際には、ホワイトボードの画面サイズは小さく、複数の会議室で同時に必要な際には不足している現状があるため、スクリーンの購入は必要性のあるものであった。 同スクリーンは、会議を円滑に進めるにあたりおおいに役立った。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

※ 区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-7	広報のためのパソコンソフト購入	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	—			<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容				
目的及び内容	総務企画課企画調整担当では、市政だより中原区版のほか、区ガイドマップ、区ホームページ、緑のカーテンパンフレットなど作成している。これらの版下は全てデジタルであるが、広報物のためのイラストやレイアウト原稿を作成する際、そのためのソフトがなく、また職場における配置計画のパソコンでは画像を扱うソフトに対応した能力を持っておらず、購入してもインストールもできないのが現状である。 そこで、別途購入するパソコン用の画像作成・編集のためのソフトを購入する。					
予算額	176,000 (円)	決算額	170,100 (円)	不用額※	5,900 (円)	
※不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (購入したソフトでポスターを作成)	Adobe 社「ADOBE CREATIVE SUITE 3 DESIGN STANDARD」(Photoshop, Illustrator, In design 同梱)を1セット購入した。				
		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年2月	参加人数等	—	

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 当該ソフト購入により、ゴーヤーの育て方絵本の作成、区民会議市民報告会のパネル作成等円滑に行うことができた。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

※ 区民会議からの主な意見

_____
-------




平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-8	区役所庁舎内サイン改修工事	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区役所来庁者	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容			
目的及び内容	平成2年度に完成した現区役所庁舎の庁舎案内板(サイン)は、経年劣化により色落ちしてきた表示や近年の組織変更に伴い、誘導案内板として来庁者に対する十分な機能を果たしておらず、行政サービスの最前線であり、地域住民との接点でもある区役所の窓口としての的確な窓口サービスが提供できていないため、改修工事を実施する。 更新にあたっては、今後の組織変更等に備え、職員による修正が可能となるよう紙差し替え式案内板を導入する。				
予算額	2,215,000(円)	決算額	2,214,870(円)	不用額※	130(円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		庁内案内板(守衛室側EV前1F、正面側EV前2~5F、計5箇所)、各階フロア案内板(守衛室側EV前2~5F、正面側EV裏1~5F、計9箇所)のサイン改修工事を実施した。 当該事業で作成・使用したデータは、市の著作権物として納入した。		
	(区役所庁舎内サイン)		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 小杉駅周辺再開発による新規住民にとってもファーストコンタクトとなる行政の窓口として、的確な窓口案内を行うことは重要であるといえる。 区役所庁舎内の案内板の更新を実施したことにより、より便利な窓口サービスの提供ができ、当初の事業目的は達成したといえる。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

※ 区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-9	区民課窓口発券機等改修工事	新規	H19年度	区民課

1 事業概要

事業実施主体	区民課、保険年金課	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事請負費）	関連事業局・事業内容			
目的及び内容	区民課及び保険年金課で使用している個別番号呼び出し機が故障したため、窓口来庁者に対して的確な案内が困難となっているため、混雑期を前に改修を行い便利で快適な窓口サービスの提供を図る。				
予算額	689,000(円)	決算額	688,191(円)	不用額※	809(円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  改修した発券機		区民課、保険年金課窓口用呼び出し機を改修し、混乱をきたさない窓口案内が可能となった。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加人数等		

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 区民課、保険年金課で使用している窓口番号呼び出し機が故障し、窓口来庁者の呼び出しに支障が生じたため、混雑期（3月～5月）を迎える前に改修を行いたいため、緊急対応経費による予算措置により改修を行った。 年度内での対応が行えたため、来庁者の窓口呼び出しについては混乱をきたさない案内（窓口サービスの提供）が可能となった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	機器の故障は改善（改修）された。 今後も、来庁者に対して快適な窓口サービスの提供を心がけた対応を進める。

※ 区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-10	中原区子育て情報ガイドブック “このゆびと～まれ” 印刷	継続	平成18年	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	中原区子育てネットワーク	対象者	区内の乳幼児を持つ保護者	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容		
目的及び内容	転入者が多い中原区においては、地域の公園や子育てに関する施設、子育てを支援する制度等に関する情報をコンパクトにわかりやすく提供することが求められている。そのため、H18年度に実際に区内で子育てをしている、または子育てに関わっている区民が主体となって作成委員会を設置し、どんな情報があったら便利かという視点でガイドブックを作成し区内の乳幼児を持つ保護者に配布した。当初予定では、2年に1回の改訂をしながら発行し、区民に情報提供をする予定であったが、反響も大きく、増刷を余儀なくされ緊急に増刷を行う。			
予算額	1,657,200 (円)	決算額	1,638,840 (円)	不用額※ 18,360 (円)
※不用の理由	ホームページ作成委託料が当初見積もっていた金額より大幅に下がったため。			
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  子育て情報ガイドブック 「このゆびと～まれ！」	平成20年度の改訂版発行までの間に必要となる5000部を、一部内容修正し増刷した。		
		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触ること) こどもを持つ家庭に対して、出生届け時及び転入時に洩れなく配布を行い、中原区の子育てに関する情報をコンパクトな冊子で発信を行っている。今年度は、緊急対応で増刷されたことで、情報の提供を継続することが出来た。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	平成20年度は、平成21年4月発行を目途に子育て情報ガイドブックの改訂版の発行を計画しており、子育て支援ネットワーク会議等を利用して、子育て中の区民が求める情報の収集等を行っていく。

※ 区民会議からの主な意見


・ホームページと連動して、情報が色々な形で入手できるようにして欲しい。
-------------------------------------

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-11	中原区市民健康の森倉庫環境整備事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	市民健康の森を育てる会	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	平成13年に中原区市民健康の森が設立された際に維持管理用具を収納する目的で木造倉庫を設置したが、歳月の経過による劣化が進み雨漏りや変形が起こったため、整備を行った。 整備に関しては、既存屋根の修繕とするかスチール製の新規購入とするかは、育てる会と協議のうえ金額的に安価な方を選択した。(→耐久性を考慮し、スチール製を選択した)			
予算額	200,000(円)	決算額	199,500(円)	不用額※ 500(円)
※不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(設置された倉庫)</p>	維持管理用具が雨による被害から守られ、収納スペースとして有効活用できるようになった。 育てる会は自主運営をしている団体であるが、資金面では地元町会と公園事務所からの助成(合わせて7万円)のみで運営していることから、当該事業のようなハード面に及ぶ資金は持ち合わせておらず、協働推進事業で対応することにより会員のモチベーションアップに繋がった。		
		実施時期 (開催日/回数等)	10月13日 1回	参加 人数等

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>緊急対応したことで、維持管理用具の被害が最小限に抑えられたことは評価できる。 また、市の施策で設置された市民活動団体が、市の担当部署の消滅により区役所へ保管換えされた事実があり、区行政の運営にも環境関係として今後の継続した良好な関係を築く意味でも設置した意義があった。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	<p>倉庫の環境整備という点では、今回の事業は単年度である。 今後については、同様な問題がすぐに発生するとは思わないが、行政内での調整や判断がその都度必要となる</p>

※ 区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-12	区役所敷地内花壇の親子植栽体験事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	花クラブ実行委員会	対象者	区内親子	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	-		
目的及び内容	区役所正面玄関脇に設置されている池を花壇に改修することにより、来庁者の目を楽しませるとともに憩いの場として提供することで、区役所のイメージアップを図る。 親子でコミュニケーションを取りながら愉しんで貰うことを目的に、参加対象を親子に絞り公募し、講師役を勤める委員と一緒に花壇の花を植栽することで親しみのある区役所づくりにも貢献する。				
予算額	486,000(円)	決算額	485,922(円)	不用額※	78(円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		花壇のデザインは一般公募のふろん太君、区役所のマーク等を採用して区内の親子14組と花クラブ実行委員会が区の花バンジーを植栽した。 親子のコミュニケーションを基本にイベントを開催したが、他の家族とも会話が生まれる等、交流という部分でも大いに貢献した。 また、植栽後の来庁者の感想は、非常に好評であり「区民の手で花いっぱい中原」事業への区役所の取り組みという観点からも成果があった。		
	(植栽の様子)		実施時期(開催日/回数等)	11月25日 1回	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 完成した花壇は、華やかで親しみもあると来庁者に大変好評であり、記念撮影を行う通行人や立ち止まって見てくれる人が多くいる点で事業目的に対する成果は十分に得られた。 管理作業をする際に来庁者との間で会話が生まれ、親しみやすい区役所づくりの一助となったことは意義がある。 排水循環システムの老朽化により使用されずにいた池を有効利用し花による潤いのある区役所として活用する緊急性や重要性があった。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	上記評価のとおり、本事業の取り組みは大変好評であり継続実施するべきだが、別掲の「区民の手で花いっぱい中原」事業と趣旨や方向性が合致していることもあり、20年度より統合して実施する。 また、参加対象者の設定についても活動がより広がるように検討していく。

※ 区民会議からの主な意見

・正面入口が華やかになり良いと思う。
--------------------

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-13	中原区防災マップ作成事業	新規	平成19年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	関係課、自主防災組織を中心とした区民、関係機関等	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )	関連事業局・事業内容	総務局危機管理室・防災マップの作成		
目的及び内容	市民主体による安全・安心のまちづくりを進めるために、区内全域の防災体制などを一目で把握できるようにすることを目的として防災マップを作成し、災害時や地域での防災訓練などに活用する。				
予算額	725,000 (円)	決算額	514,500 (円)	不用額※	210,500 (円)
※不用の理由	契約差金 (見積合わせ)				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	災害時に備え、地域での防災訓練などに活用することによって実態に即したものにでき、地域の防災力の向上に役立った。			
	(写真などのキャプション)	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加人数等	—

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>災害時に区内の状況を把握するツールを確保することは防災対策をとる上で喫緊の課題であり、かつ大変に重要なことであるが、そうした点で今回作成した防災マップは、迅速・的確な対応に大いに役立つものである。</p> <p>また、平常時にも防災訓練や会議の際に活用することにより、実際に防災をイメージするために有用なものであり、従って、本事業は地域の防災対策にとっても大変に有意義なものであったといえる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	作成した防災マップの利用状況等を見ながら、改訂や予算化を含めた今後の方向性について検討していく。

※ 区民会議からの主な意見

<p style="text-align: center;">—</p>
--------------------------------------




平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-14	「歴史と緑の散策マップ」追加更新作成委託事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	一般区民（新規転入者）	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他（ ）	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	平成18年度事業で10,000部作成した「歴史と緑の散策マップ」の在庫が少なくなったことと、小杉駅周辺の再開発等で転入してくる新区民に対しての中原区の魅力発信として、現状の最新データに更新することも併せて新たに7,000部を作成した。			
予算額	497,000(円)	決算額	496,387(円)	不用額※ 613(円)
※不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(散策マップ)</p>	<p>&lt;別途、成果物あり&gt; 平成20年4月より区民課での転入受付の際に生活ガイド等の配布物と一緒に散策マップを配布している。</p>		
		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加 人数等

2 事業評価

<p>評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）</p> <p>今までは、欲しい人が直接担当課へ取りに来る形で配布していたが、再開発等で多くの転入者がある中で区民課と連携することで、区の魅力発信の意味で積極的に対応している姿勢が打ち出せた。 また、開発等で建物や道路が変化している状況に対して、地図データを適宜調整や修正を加えることで散策マップの鮮度を保つ意味でも重要であった。</p>
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	緊急対応での事業であるが、転入者や窓口来訪者には概ね好評である。 データを更新していく部分では、計画的に予算計上していく必要はあるが、在庫との兼ね合いや配布の仕方等では今後も緊急対応で賄う可能性もある。

※ 区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-15	区民交流センター 「多目的屋外スペース」創設事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	一般区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	区役所正面玄関にあった3ヶ所の池について、循環ポンプの故障により長い間未使用であったものを2つの花壇として改修した。当事業は残る1つについて、花壇と一体感のある親しみのある区役所作りを目的とし、段差解消などの危険防止策と3月にオープンした交流センターの屋外多目的スペースとしてウッドデッキを敷設し整備を行った。				
予算額	2,221,800(円)	決算額	2,221,800(円)	不用額※	(円)
※不用の理由					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (完成したウッドデッキ)		ウッドデッキにしたことで段差解消の安全対策は勿論のこと、花壇との一体感が生まれたことにより、親子が一緒に花壇を見るために座ったり、保育園児が自由に動き回ったりと以前とは比較にならないぐらい人が集まるようになった。 また、市民活動団体の活動場所としても「こういう事をやってみたい」等の問合せが入るようになってきた。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加人数等		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 区役所の顔としての正面玄関を花壇中心に整備したことで、区民の憩いの場作りと親しみのある区役所としてのイメージアップに寄与したことは重要である。また、花壇が先行して作っていたこともあり、注目を浴びると共に3段目との段差解消などの安全対策は緊急性を要した。 3～4月の転入者受付の繁忙期などでも、受付の待ち時間が長くても子供を遊ばせておく場所としては絶好であり、花壇を手入れしている職員とのコミュニケーションや自由に遊べる空間として非常に有効である。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	緊急対応による工事請負のため、完成をもって終了である。 上記の評価理由のとおり作った成果は出ているので、今後の有効利用について関係団体や庁舎管理担当課と協議をしていく。

※ 区民会議からの主な意見

--